
IDE-JETRO
研究双書
No.546

ミャンマー移行経済の変容

市場と統制のはざままで

藤田幸一編

アジア経済研究所

研究双書 No. 546

藤田幸一編『ミャンマー移行経済の変容—市場と統制のはざま—』

Myanma Iko-keizai no Hen'yo: Shijo to Tosei no Hazama de

(Myanmar's Economy in Transition: Market Versus Control)

Edited by

Koichi Fujita

Contents

- Introduction Overview: The Myanmar Economy in Transition since 1988 (Koichi Fujita)
- Chapter 1 Characteristics of Capital Accumulation in Myanmar, 1988-2003 (Fumiharu Mieno)
- Chapter 2 Money Supply, Inflation and Exchange Rates in Myanmar (Takatoshi Ito and Masao Kumamoto)
- Chapter 3 The Financial Sector in the Transition to a Market Economy in Myanmar (Koji Kubo, Ryu Fukui, and Fumiharu Mieno)
- Chapter 4 Evolution of External Economic Relations under Military Rule: Focusing on Foreign Trade and Investment (Nobuyoshi Nishizawa)
- Chapter 5 Myanmar Agriculture in the Transition to an Open Economy (Koichi Fujita and Ikuko Okamoto)
- Chapter 6 Rice Marketing in the Transition to a Market Economy in Myanmar (Ikuko Okamoto)
- Chapter 7 Agricultural Laborers in the Transition to a Market Economy in Myanmar (Koichi Fujita)
- Chapter 8 Laborers in the Urban Informal Sector in the Transition to a Market Economy in Myanmar (Nang Mya Kay Khaing and Koichi Fujita)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 546]

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2005

3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

目 次

まえがき

序 章	ミャンマーにおける市場経済化と経済発展構造	藤田幸一	3
	はじめに		3
	第1節 1988年以降の経済政策の基本的性格とその背景		4
	第2節 本書の概要		10
	第3節 小括		21
第1章	対外開放後ミャンマーの資本蓄積	三重野文晴	25
	はじめに		25
	第1節 基本的構造		29
	第2節 規制の諸相とマクロ経済, 産業構造		33
	第3節 民間企業, 金融部門の形成と特徴		49
	まとめ——2000年代のミャンマー経済をどうみるか		64
第2章	ミャンマーにおける貨幣, インフレーション, 為替 相場の関係	伊藤隆敏・熊本方雄	71
	はじめに		71
	第1節 概観		72
	第2節 実証分析方法		80
	第3節 実証分析結果		83
	おわりに		91

第3章 移行経済下ミャンマーの金融セクター	
……………久保公二・福井龍・三重野文晴…	97
はじめに……………	97
第1節 ミャンマーの金融システム……………	99
第2節 民間銀行の発展メカニズム……………	116
第3節 2003年2月の銀行取付け……………	121
第4節 ミャンマー金融システムのCLMV各国との比較……………	128
まとめ……………	137
第4章 軍政下の対外経済関係の展開	
——貿易と投資の動向を中心に——……………西澤信善…	143
はじめに……………	143
第1節 外国貿易……………	144
第2節 外国投資……………	158
結論——市場経済と規制の問題……………	165
第5章 開放経済移行下のミャンマー農業……………藤田幸一・岡本郁子…	169
はじめに……………	169
第1節 農業部門のパフォーマンスと国民経済……………	173
第2節 主要作物の生産動向とその規定要因……………	182
むすびに……………	216
第6章 ミャンマー市場経済移行期のコメ流通	
——その制度と実態の変容——……………岡本郁子…	231
はじめに……………	231
第1節 第1の自由化と公的流通部門の変容……………	233
第2節 第1の自由化と民間流通部門の変容……………	246

ミャンマー移行経済の変容

ふじた こういち
藤田 幸一 (京都大学東南アジア研究所助教授)

みえ の ふみはる
三重野 文晴 (神戸大学大学院国際協力研究科助教授)

いとう たかとし
伊藤 隆敏 (東京大学大学院経済学研究科教授, 兼公共政策大学院教授)

くまもと まさお
熊本 方雄 (東京経済大学経済学部助教授)

くぼ こうじ
久保 公二 (アジア経済研究所開発研究センター研究員)

ふくい りゅう
福井 龍 (日本政策投資銀行参事役)

にしざわ のぶよし
西澤 信善 (近畿大学経済学部教授)

おかもと いくこ
岡本 郁子 (アジア経済研究所地域研究センター研究員)

ナンミヤケーカイン (東京外国語大学非常勤講師)

—執筆順—

ミャンマー移行経済の変容

—市場と統制のはざまで—

研究双書No.546

2005年10月12日発行©

定価 [本体3900円 + 税]

編者 藤田 幸一

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

http://www.ide.go.jp

印刷所 日本ハイコム株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN4-258-04546-2

「研究双書」シリーズ

(提示した価格は税込み価格です)

533	インドネシアの地方分権化 分権化をめぐる中央・地方のダイナミクスとリアリティー 松井和久編 2003年 284p. 3360円	地方分権化がインドネシアに暗雲を漂わせている。分権化めぐり中央と地方がせめぎあう現場では、いま何が起り、また起きようとしているのか。綿密な現地調査をもとに、地方分権化で揺れるインドネシアの現状を徹底解明する。
534	国家・暴力・政治 アジア・アフリカの紛争をめぐって 武内進一編 2003年 510p. 5460円	ネーションステイト、暴力、紛争抑止などをテーマとする12の事例研究と理論的総説をもって、アジア、中東、アフリカで頻発する武力紛争を多角的に分析する。紛争研究の新たな地平を切り開く力作。
535	金融政策レジームと通貨危機 開発途上国の経験と課題 三尾寿幸編 2003年 324p. 3885円	金融政策と為替レート制度からなる「金融政策レジーム」の視点から、90年代以降の開発途上国における通貨危機やインフレーションを分析する。
536	金融グローバル化と途上国 国宗浩三・久保公二編 2004年 370p. 4305円	金融のグローバル化とはいかなる現象か、そうした現象が途上国経済に及ぼす影響は。マクロとミクロ双方の視点から近年の途上国金融問題を考察する。
537	インドネシアの経済再編 構造・制度・アクター 佐藤百合編 2004年 444p. 4935円	通貨危機と権威主義体制の崩壊を受けて混迷するインドネシア。経済の市場化、民主化に向けた「制度改革の実験」はどこまで成功したのか。再編期を読み解くインドネシア経済論。
538	ファミリービジネスの経営と革新 アジアとラテンアメリカ 星野妙子編 2004年 423p. 4725円	度重なる経済危機と激しさを増す国際競争のもと、生き残りを模索するアジアとラテンアメリカの巨大ファミリービジネスの最新の姿を明らかにする。
539	カンボジア新時代 天川直子編 2004年 445p. 5040円	1993年の新生カンボジアの誕生から既に10年。国際関係と国内政治経済体制の劇的な変化の下で、カンボジア人々の暮らしはいかに変わりつつあるのか。詳細な現地報告。
540	国際経済参入期のベトナム 石田曉恵・五島文雄編 2004年 472p. 5250円	WTO加盟をめぐって国際経済への参入を深化させつつあるベトナム。市場経済化、行政改革、国際開発協力の現段階と立ち向かうべき課題を論じた地域研究報告。
541	アジアにおける環境政策と社会変動 産業化・民主化・グローバル化 寺尾忠能・大塚健司編 2005年 388p. 4410円	アジアの環境政策と社会変動について、直接規制と経済的手段、情報公開と参加、環境紛争、技術開発、国際協力、国際協調等具体的な政策過程の事例研究を踏まえて検討する。
542	エジプトの開発戦略とFTA政策 山田俊一編 2005年 302p. 3360円	60年代にアラブ社会主義の盟主であったエジプトが、今、EUやアメリカとのFTAに邁進。その背景を開発・貿易政策、内政、アラブ地域協力、EU・地中海連合協定から分析。
543	アフリカ経済実証分析 平野克己編 2005年 360p. 4200円	日本におけるアフリカ経済研究のフロンティア。経済学者とアフリカ学者の共同プロジェクトの成果で、地域研究の手法を踏まえつつ計量実証分析に挑んだ。
544	ポスト・エドサ期のフィリピン 川中 豪編 2005年 246p. 2940円	アジアにおける民主化のさきがけであったフィリピン。その民主化後の約20年はどう評価されるだろうか。民主主義の定着と自由主義的経済改革の相互関係を軸に読み解く。
545	ラオス 一党支配体制下の市場経済化 天川直子・山田紀彦編 2005年 264p. 3150円	「一党支配体制下の市場経済化」に挑戦するラオス。「2020年までの最貧国からの脱出」という目標は達成しうるのか。ラオスの課題とは何か。